



田尻町議会だより

# たじりの風

8 9 1 0

Vol.96

平成25(2013)年  
8月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



6月17日 古代米田植え体験

## 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告 ..... 6 頁
- ★ この人にインタビュー ..... 6 頁

# 一般質問

- 大門 久恭 議員
  1. これからの墓地のあり方について問う
  2. 吉見ノ里駅無人化対策の進捗を問う
- 明貝 一平 議員
  1. 駅前広場の進捗を問う
- 仁部 順行 議員
  1. 町の将来展望は
- 東 小夜子 議員
  1. 児童遊園・公園について
  2. 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成について
  3. 町長の施政方針から職員的能力開発向上について
- 吉開 育子 議員
  1. 就学援助費の拡大を求める
  2. 福祉風呂の点検は早期に実施すべき
- 小川 雄司 議員
  1. 西堀地域の良好な市街地形成における行政責任を問う
  2. 環境美化において、シルバー人材センターのより積極的な活用を
- 坂口 実 議員
  1. 特別職（町長・副町長・教育長）の報酬は高くないか

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

や墓地区画の清掃など、役割が非常に多くなるのではとの懸念もあるので検討を重ねる。

**問** これからの墓地のあり方を問う

**答** 今後、樹木葬の情報収集を行う

**問** これからの少子高齢化時代に伴う新しいお墓のカタチを考えてはどうか。『高齢夫婦で子どもがなく、立派な墓石を建てる気になれない』あるいは『お墓のことで子どもたちに負担をかけたくない』また『ひとり身でお墓の継承に不安がある』と考えている人が最近増えている。そこで一般のお墓に比べて費用負担が少なく、環境的に優れた効果のある樹木葬を一般墓地の一面に設置してはどうか。

**答** **生活環境課長** 樹木葬は、新しい墓地の形として近年、関心を集めている。しかし、一般的な認知度が低いことから、本町においてどれくらいのニーズが見込めるのか、また、管理運営上の問題として、樹木の手入れ

**問** 吉見ノ里駅無人化対策の進捗を問う

**答** 南海電鉄へ無人化の解消を要望していく

**問** 吉見ノ里駅は昨年10月より無人化を行っているが、今春より警察学校が開校するなど乗降客が増加している。事故対応や治安維持の観点からも早急な有人復帰が必要であると考えます。その後の進捗を問う。

**答** **企画人権課長** 田尻町として吉見ノ里駅の無人化は決して受け入れられるものではないことから、すぐに南海電鉄へ抗議した。阪南5市3町町会連絡協議会秋季総会で、駅のバリアフリー化及び駅員の常時配置の要望を採択し南海電鉄へ要望している。今年度の大阪府への要望にも新たに追加して対応する予定である。そのほかにも、地区連合会と相談して住民から駅の無人化廃止署名運動を行う予定である。



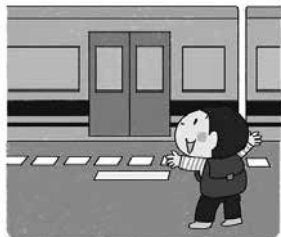
明貝 一平 議員

### 問 駅前広場の進捗を問う

**答** 意見集約して駅の活性化をしていく

**問** 6月議会で報告すると答弁があった駅前広場の進捗を報告願う。

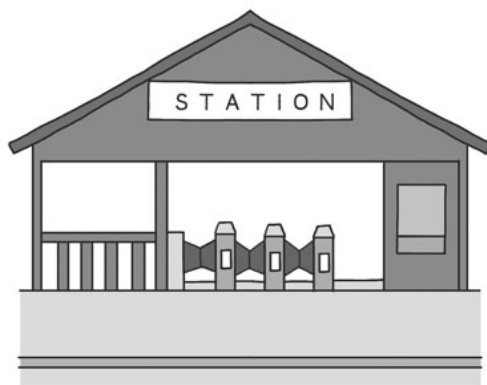
**答** **都市政策課長** 現在は南海電鉄や警察等の調整をしている段階であり、整備内容を報告できるまでに至っていない。



**問** 駅員の無人化にも対応できるよう、「人の目」が集まるような場所も盛り込んでどうか。

**答** **事業部長** 整備スペースの全体像が確定してから、駅利用者の安全面や利便性を考えていきたい。

**町長** まずは駅周辺の利便性や安全性を確保した上で、田尻町唯一の駅として「顔」づくりをしていきたい。



仁部 順行 議員

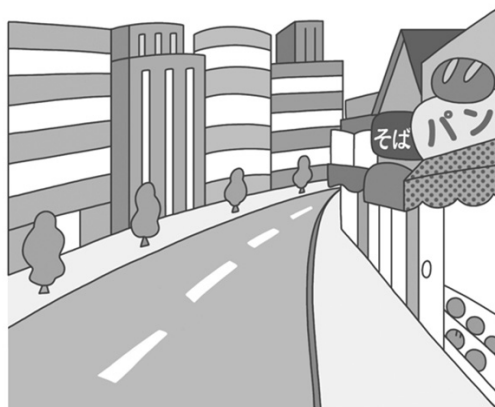
### 問 町の将来展望は

**答** 議会と議論をして進める

**問** 本町の人口は年々増加傾向で、このままの状況では、あと数年で1万人に達する勢いである。高度成長期には紡績会社等が多数あり、そこで働く人も多く、昭和49年の8,468人が最高だった。しかし、現在の町の総人口は8,983人。今後、町の人口が増加すれば、保幼小中学校の児童生徒数も大幅に増加することも視野に入れなければならない。また、本町は関西国際空港関連の税収で成り立っている。しかし、それらの税収が無くなれば、たちまち町財政が混乱する。関空以外の税収の手立てを考え、関空からの税収が無くても、今まで以上に住民ニーズに対応して時代の流れを的確に捉え、21世紀を展望した新しい施策を展開していく必要があると思う。

町長は町の将来の姿をどのように考えているのか。

**答** 南海線の山側のほとんどが調整区域である。しかし、ここを町の大きな資産と考えた場合、いろいろな展望ができると思う。関空からの税収が無くなることも見据え、議会とともに議論して進める。







東 小夜子 議員

**問** 児童遊園に幼児用の遊具の設置を

**答** 現時点で増やす計画はない

**問** 田尻町にある7ヶ所の児童遊園の中には、遊具の老朽化が進み、安全性に問題のある遊具は撤去され遊具の無い児童遊園もある。

第4次田尻町総合計画の住民アンケートには遊具を設置して小さな子どもが安心して遊べるような身近な遊び場の整備についての強いニーズがある。

児童遊園に幼児用の遊具の設置を考えているのか。



**答** 都市政策課長 既存の公園には設置を考えていな

いが、現在協議中の府営住宅跡地での開発の中でできる範囲で開発事業者に設置していただくよう考えている。

**問** 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成を

**答** 今年度、実施する

**問** 肺炎は細菌やウイルスが肺に入って炎症を起こす病気で年間11万人を超す方が亡くなっている。その97%は65歳以上の高齢者である。

細菌性肺炎にかかる人の約3割から4割は肺炎球菌が原因である。肺炎球菌ワクチンは80種類以上の型があり、肺炎球菌のうち23種類に対して効果を発揮し、肺炎全体の8割以上を抑えることができ、一度接種すれば効果が5年以上持続すると聞いている。

予防効果の高さから公費助成を始めた市町村もあり、本町も実施すべきであるが、どのように考えているのか。

**答** 健康課長 高齢者の肺炎球菌のワクチンは3市3町や医師会と調整しているが、同時スタートはなかなか困難である。もし難しい場合は、田尻町単独で今年度実施する。



吉開 育子 議員

**問** 就学援助の拡大を求める

**答** 現時点で拡大の予定はない

**問** 学校教育法で『経済的理由により就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して市町村は必要な援助を与えなければならない』とあり、対象者に学用品や給食費など、必要経費を支給している。田尻町において就学援助を受けることのできる対象者は、前年の総所得が生活保護基準の1.0倍以下の世帯となっているが、近隣自治体の熊取町、泉南市、阪南市は生活保護基準の1.1倍である。今、政府は生活保護基準の引き下げを行おうとしている。生活保護基準が下がると、就学援助の所得基準が下がる。就学援助対象者が切り捨てられないよう、田尻町の所得基準の引き上げを求める。また、文科省が2010年度に新たに加えたPTA会費も支給し援助費の拡大を求める。

**答** 学事課長 援助費の拡大は現時点で予定はない。厚労省は生活保護基準を本年の8月1日から見直すと言われている。文科省からは、児童生徒の教育を受ける機会が妨げられないよう、平成25年度の当初に要保護者として援助を受けていた保護者に対しては引き続き補助対象とする旨通知されている。

**問** 福祉風呂の点検は早期に実施を

**答** 7月下旬に実施する

**問** 昨年、福祉風呂は8月6日から10日の間、点検のために休止した。今年は盛夏に実施することは避け、早期に実施するよう求める。

**答** 福祉課長 福祉風呂の配管洗浄を、今年は7月下旬に実施する予定である。



小川 雄司 議員

**問** 町道高野浜線から西堀地域への町道設置を

**答** 現在道路整備を行う考えはない

**問** 町が道路用地として購入していた吉見505及び505番の2の2筆は、平成22年に民間に売却された。これにより、町道高野浜線からの西堀地域への進入路は、用水路の泥揚場に限られることになり、営農継続と今後の市街地形成に大きな障害をつくりだした。町道高野浜線から当該地域への進入のための町道を設置されたい。

**答** 町側に不備がなかったとはいえ、迷惑をおかけしたことは申し訳なかったと



思っている。現在のところ市街地形成をはかるための町道整備計画はない。

**問** 環境美化推進にシルバー人材センターの活用を

**答** 社会福祉協議会と協議する

**問** りんくう中地区に府警察学校が開校した。りんくう北地区とともにまちづくりがほぼ成熟し、人及び車両の往来が増えた。これにより、りんくう地区との緩衝緑地帯の日常的な環境美化のため、シルバー人材センターのより積極的な活用をはかられたい。

**答** シルバー人材センターの人数も限られているが、社会福祉協議会と協議してすすめたい。



坂口 実 議員

**問** 特別職(町長・副町長・教育長)の報酬は高くないか

**答** 特別職報酬等審議会の答申を受け決定

**問** 特別職の任期中に支給される報酬(給料・賞与・健康保険・共済年金・退職金)は、本町の規模や全国就労者平均所得額を鑑みれば高額ではないか。共済年金の廃止や国民健康保険への移行や支給額の引き下げはしないのか。

**答** 秘書課長 条例に定めがあり特別職報酬等審議会に諮問し答申を受け、その結果を議会で決定。年金・健康保険に相当する共済費は、地方公務員等共済組合法で定めており変更できない。

**問** 報酬審議会条例は委員5人で組織し町内公共団体代表から町長が任命し運営に関して町長が定めるとある。実

権を町長が握るのはいかがなものか。

**答** 秘書課長 条例で定めており近隣もこのようになっている。

**問** 報酬年額は町長1,079万円、副町長1,021万円、教育長931万円。共済費年額は町長183万円、副町長178万円、教育長157万円。退職手当は町長938万円、副町長592万円、教育長405万円。これらの住民1人当たりの年間負担額は、町長1,665円、副町長1,499円、教育長1,324円となる。報酬月額は町長65万円、副町長61万円、教育長56万円であり、和歌山県すさみ町は決算カード市町村類型が本町と同じⅡ-2で財政規模も変わりなく、病院が特別会計で運営。すさみ町の報酬は町長52万円、副町長46万円、教育長42万円と本町より低い。

**答** 秘書課長 それぞれの自治体が判断している。

**問** 特別職は地方公務員法第3条3項に規定する職員である。国会議員に法改正の要望をしたいが、住民代表である町長がなぜ職員と同じ待遇なのか。

**答** 秘書課長 法律に基づいている。

# 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 伊藤 幸男

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(6月10日開催)

◎平成25年度田尻町一般会計補正予算(第1号)の件  
(1億6,132万3千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 閑空2期島のエプロン増設部分の線引き見直しというところで、田尻町の市街化区域はどの位増えるのか。また、税収も増えると思うがどうか。

**答** 今回の市街化編入区域は、飛行機の駐機場ということで建物が無く、大幅な増収はない。また、田尻町の市街化区域として増えるのは、24,764㎡である。

**問** 貨物輸送のフェデックスが倉庫を建てるという話があった。また、現在のLCCの施設が一杯になれば、貨物地区の倉庫にし、LCCターミナルは別に建てるという話も聞くがどうか。

**答** フェデックスは完成済みで、当時の線引きでは、6、7機くらい止まる駐機場があった。今回の拡張部分の施設はほぼ泉南市側にあり、泉南市が1機、田尻町は2機分の増加となる。また、2期島の田尻町域南側は全て埋まるので、今後、LCCほか事業拡大については、全て北側への拡張しかない。

◎平成25年度田尻町水道事業会計補正予算(第1号)の件  
(360万円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 新公営企業会計制度とは、どういうものか。

**答** 民間に比べ財務状況が見えにくいことから、今回総務省が改正した基準に基づいて改正するものである。大きな項目として、今まで起債借入れは資本として計上していたが、負債として計上され、資本の減少及び流動負債の増加となる。

また、固定資産のみなし償却制度が廃止されることで、今まで国庫補助金等で行った工事についてはしていなかった減価償却をすることになる。

今回の会計基準は、流動資産が減少し、流動負債が増加する項目を多く含み、財政健全化法で定められている資金不足比率に影響が及ぶと考える。

## 文教厚生常任委員会

委員長 大門 久恭

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(6月11日開催)

◎平成25年度田尻町一般会計補正予算(第1号)の件  
(1億6,132万3千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 風疹の予防接種助成を5月13日から開始しているが、田尻町において風疹を発症した方、また、予防接種を受けられた方は、何人いたのか。

**答** 任意接種であり、報告義務もないためデータは掴んでいない。申請された方は4名である。

**問** 他の町では、妊婦の夫と妊娠を希望する女性に加え、49歳までの人に幅広く対象としている。たくさん予防接種すればするほど感染予防になり、対象者を広げる考えはないか。

**答** 本町では対象年齢を、女性の場合は19歳以上とし上限設定はしていない。配偶者も対象になっており大阪府の補助基準と同条件で実施している。

## この人にインタビュー

田尻町人権協会会長  
人権擁護委員

栗山 美政さん(66歳)

4年前から人権擁護委員となられ、来年10周年を迎える田尻町人権協会会長として活躍されている栗山美政さんにお話を伺いました。

### Q 人権協会の取り組みは？

**A** 人権相談や講演会、映画会を通じて人権啓発を行っています。さまざまな差別・人権問題がありますが、最近はいじめや児童虐待などが増える傾向です。明るい差別のない町づくりで、一人ひとりが明るく楽しく生活できることが基本だと思います。地域の人たちにも一層人権意識を持っていただければ、よりよい町づくりにつながると思います。講演会や映画会などに、より多くの人たちに参加していただけるようPRの方法にもひと工夫したいと思っています。

### Q 小学校で「人権教室」を行っているのですか？

**A** 毎年、小学3年生・5年生を対象に、人権擁護委員3名で授業をさせていただいています。子どもたちは真剣に話を聞いてくれ、楽しく授業をしています。

### Q 趣味はなんですか？

**A** 山歩きやゴルフを楽しんでいます。

退職してから、声をかけていただいた「朝のラジオ体操」をはじめ、ノルディックやMCC(男の料理教室)にも参加し、先日は中華料理・酢豚を作りました。また、私が世話役をしている「歩こう(ル)会」の仲間と、月に2・3回山歩きやハイキングを楽しんでいます。

### Q 田尻町をどう思いますか？

**A** ずっと会社人間でしたから、いろんな会合に出席しても皆さんの顔も名前もわからなかったのですが、周りの人たちに温かく迎えていただき、たくさんの人たちと知り合いになり交流の輪が広がりました。小・中学校の運動会や卒業式などにも出席するのですが、児童・生徒たちは本当に素直で優秀な子どもたちだと思います。町全体で、地域で、子どもたちを見守り育てている…そんな田尻町が大好きです。

